

**地域提案型**

平成22年度 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	パラオ
2. 事業名	パラオ共和国における簡易型コンポストシステム推進事業
3. 事業の背景と必要性	パラオでは観光施設を含めた「地域住民の負担の少ない持続可能な廃棄物処理」が必要とされている。「三重県方式簡易型コンポストシステム」を導入することで、地域住民に根付いた廃棄物利用の循環型社会の形成に資することが期待される。
4. プロジェクト目標	1) モデル地域内の地域住民に対する廃棄物処理の意識と処理能力が向上し、2) 地域住民の廃棄物環境が改善され、3) 環境・人体に優しい生ごみ堆肥を利用した野菜を栽培することによって、農産物収穫が向上し、地域住民の生活改善・生活向上が図られる。
5. 対象地域	パラオ共和国コロール州とその周辺州
6. 受益者層（人数規模）	対象地域住民、州政府、パラオ・コミュニティ・カレッジ
7. 活動及び期待される効果	<p>&lt;成果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. パラオの地域住民の廃棄物処理の意識向上</li> <li>2. 廃棄物処理環境の改善</li> <li>3. 廃棄物利用の循環型社会の形成</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 事業対象モデル地域の調査と選定</li> <li>1-2 各関係機関間の連携の枠組みの強化</li> <li>1-3 地域住民の自立運営体制の提言</li> <li>2 「三重県方式簡易型コンポストシステム」の理解と導入</li> <li>3-1 自主的な活用計画の策定</li> <li>3-2 生ごみ堆肥を利用した野菜の栽培（タロイモ等）とその堆肥の提供</li> <li>3-3 本事業の普及啓発と今後の展望（バイオマス利用を含）の提言</li> </ol>
8. 実施期間	2011年10月～2013年3月
9. 事業の実施体制	<p>プロジェクトマネジャー（調査研究部長）宇佐美香平            業務調整員（事業管理員）大橋真由美、内田直子            業務従事者（研修指導部長）内藤良三、（主幹）真下英人            業務従事者（技術顧問）橋本力男、法貴誠、山田幸延            外部技術指導員／三重大学大学院生物資源学研究所 佐藤邦夫教授</p>
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名（提案自治体）	<p>公益財団法人 国際環境技術移転センター（ICETT）            ※財団法人国際環境技術移転研究センターから移行            （三重県 政策部地域づくり支援室）</p>
2. 対象国との関係、協力実績	<p>1996年、三重県はパラオ共和国と友好提携を結び、漁業関連の研修員受入・民間交流、学校交流、青少年交流等が進められ、昨今では草の根レベルの民間外交、漁業関連の研修員受入、民間交流、学校交流、青少年交流等が盛んになっている。</p>